

## ○審判員(各チーム2名)の役割

- (1) メンバー表と選手の確認を行う。メンバー表に記載のない団員は参加できません。
- (2) 予選は、1チーム5～10名がロープに入り、2分間に跳んだ数(連続ではない)を競う。
- (3) 『跳んだ人数』×『跳んだ回数』をチームの『ポイント』とする。  
ただし、ロープに入る人数が10名以上の場合には、10名で跳んだこととみなしてポイントを決める。
- (4) 各チーム競技を2回行い、いずれか高い方のポイントを選択して順位を競う。  
また、ポイントが同数となった場合、2回の総計ポイントで順位を決める。  
2回の総計ポイントも同数となった場合は、2回の跳んだ回数の和で順位を決める。
- (5) 2名の審判員のカウントが異なった場合、数値の少ない方を採用する。
- (6) 競技中に退出した団員が出た場合は、残りの人数で競技を続けることとする。  
ポイントは最後まで残った人数で計算することとする。(途中で退出した団員のポイントは無効とします。)
- (7) 競技終了後、集計報告書の※必須箇所は必ず記載し、本部席集計係へ提出する。
- (8) Aコート・Bコート・Cコート・Dコートで予選(競技2分間を2回)を行い、各コートの上位2チームによる決勝を行います。  
また、決勝は3分間1回のみポイントで順位を決めます。ポイントが同数となった場合、跳んだ回数で順位を決めます。跳んだ回数が同数の場合は、予選の成績を参考にする。